



**G's ACADEMY**  
**TOKYO**

# APIを触ってみよう



APIの操作や使い方に触れる

今日のやること

# ポケモンAPI



このような感じでポケモンのデータ（API）を表示します😊

前半やること

```
const data = {  
  hito: "もりた",  
  age: "34",  
};  
  
console.log(data);
```

オブジェクト=データの塊を理解しましょう👏

```
const data = {  
  hito: "もりた",  
  age: "34",  
};  
  
console.log(data);
```

このデータを表示するには以下のように記述します ↓  
data.hito と記述すると「もりた」と取得することができます 😊  
つまり console.log(data.hito) と記述する

```
const data = {  
  hito: "もりた",  
  age: "34",  
};  
  
console.log(data);
```

ageにアクセスするには??みなさん考えてみましょう😊



# API実装

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">

<head>
  <meta charset="UTF-8">
  <title>ポケモンAPI</title>
  <link rel="stylesheet" href="./style.css" />
  <link href="https://fonts.googleapis.com/css?family=Rubik&display=swap" rel="stylesheet">
</head>

<body>
  <div class="container">
    <h1>ポケモンAPI</h1>
    <ul class="list">
      <!-- この中にデータを表示します -->
    </ul>
  </div>

  <script src="https://code.jquery.com/jquery-3.2.1.min.js"></script>
  <script src="app.js"></script>
</body>

</html>
```

```
const pokemonNum = 10;  
  
const fetchPokemons = async () => {  
  for (let i = 1; i <= pokemonNum; i++) {  
    await getPokemon(i);  
  }  
};
```

10というところがポケモンの数

forと書いている箇所が「ループ」処理といって繰り返し同じことを  
実行する処理

```
const getPokemon = async (id) => {  
  const url = `https://pokeapi.co/api/v2/pokemon/${id}`;  
  const res = await fetch(url);  
  const pokemon = await res.json();  
  console.log(pokemon);  
  createPokemon(pokemon);  
};
```

先ほど一つ前のページでgetPokemonを実行していますが、その中の処理になっています👉

この中で「ポケモンのデータ」をfetchという処理を使って取得（つまりほしいのでちょうだい）しています👉

```
function createPokemon(pokemon) {  
  const poke = `  
    <div>  
      ${pokemon.id}  
      ${pokemon.name}  
      ${pokemon.height}  
        
    </div>  
  `;  
  
  $(".list").append(poke);  
}
```

そして最後に取得したデータを今度は「表示」するためにjQueryの操作をしています😊appendを使うことでclass="list"の箇所に埋め込むことができます

```
fetchPokemons();
```

最後にこのfetchPokemonsというものを実行することで  
全てのコードが実行され、画面に表示されるようになります😊

# コンソール解説

まとめ



1. APIを利用する際は取得or設定が必要

※場合によっては不要なAPIもあります

2. 説明書（ドキュメントやリファレンス）などは必ず見ましよう！

3. XXX API 取得, XXX API 設定など

検索で色々の記事を探してみましょう！

今回はポケモンAPIでしたが基本的な使い方  
や設定はある程度似ています！  
色々なAPIに触れて少しずつAPIの使い方に  
慣れていきましょう！

※なるべくわかりやすい表現やかなり噛み砕いた言い回しにしていますが、あくまでも一つの意見として参考にしてみてください  
違う方や他の記事で色々な解説や説明などもありますので、それらと見比べながらやってみると理解が深まるかと思います